

# みんなで子育て No. 5

岐阜県環境生活部 環境生活政策課 家庭教育推進専門職：辻 Tel 058-272-8752

## 稲羽中校区子育て広場 「ほめる達人にならなう！」講話 6月21日

講師：一般社団法人 日本ほめる達人協会（ほめ達） 認定講師 高橋 恵美 氏

稲羽中学校では、校区の小学校と合同で「家庭教育学級」と「職員研修」を兼ねて実施されました。

講話の途中にいくつかのワークショップがあり、3人グループで活発な交流が行われました。ワーク①：プラスへの変換：短所だと思ふ事を長所に言い換えてみる。ワーク②：これは何のチャンス？：起きた出来事を何かのチャンスとしてとらえる。ワーク③：価値の発見（人物編）：身近な人の素晴らしい点を探し、エピソードを通して紹介する。

ほめ達！のいう「ほめる」とは、自分の周りの「人」「物」「起きる出来事」の価値を発見して伝えること。

ほめる達人は、全ての出来事は、「必然」「必要」「ベスト」と考える。微差を積み重ね、全ての人の「可能性」と「成長」を信じる。

高橋氏は、ほめることの最大のメリットは、「自分自身の心が整い、自分の心に余裕ができ、相手との関係性が（よい方向に）変わる。」ことだとまとめられていました。

### 参加保護者の声

普段、子どもと接していると、どうしても気になる点に目が行ってしまい、口うるさくなってしまいがちなので改めたいと思いました。今日は、他のお母さんたちともお話ができ、とても有意義な時間となりました。



「怒り」や「困惑」は、自分は価値観や基準に合わないから生じるもの。自分の目線を変えたり、相手の立場から見直したりすることによって、捉え方は変わります。意識して「よさ」に目を向け、相手や周りの人に伝えることの大切さを改めて学ぶことができました。

## 岐南町立西小学校 「お弁当の日」講話 7月8日

講師：弁当の日応援団 IN 瑞穂 代表 麓 英里 氏

「弁当の日」の発案者である竹下和男氏のお話に感銘を受け、県下で子どもが自分の弁当を作って登校する「弁当の日」の活動にいち早く取り組まれた麓氏を講師に招いての講演会を企画されました。土曜日の開催であったため、親子そろって講話を聴く姿もありましたし、栄養教諭も参加されていました。（託児も準備されていました）

ルールは1つ 「自分一人で作る！ 親は手伝わない！」

1人暮らしの大学生の偏った食事内容を示されました。食事は親が準備するのが当たり前で、出されたものを食べるだけの習慣が子どもたちに与える影響は大きく、健康な生活を送る上で一番の基本である「食べること」に無頓着な人間を育てることになっていると気づかせてもらえるお話でした。

何事も初めから上手くできるものなどはないし、失敗を重ねながら人は覚えていくものですから、あえて失敗を体験させることも必要なことだと言えます。子どもたちは、失敗から多くのことを学びます。自ら行うことで、考えますし、気づきもします。この気づきこそがまさに「学び」だと言えますね！

### 参加保護者の声

子どもがお手伝いをしてくれる時に、ちょっと危ないから、ここはママがとやってしまうことがあるけれど、もう少し子どもでもできるかもという時は、見守ってやってもらおうと思いました。

子どもの力を信じて見守ることの大切さに気づきました。さっそく今日帰ったら子どもの成長を見守りたいと思いました。

体験の蓄積



講師： スポーツレクリエーションインストラクター・幼少年体育指導士 河野 博子 氏



本巢市では、教育委員会主催の乳幼児期の家庭教育学級を今年度7回企画されており、保護者のニーズに合わせ、第2回と3回は親子参加型の会として計画されました。今回はその1つ目で、講師に河野氏を招いて、音楽に合わせたリズム体操、絵本の読み聞かせ、ボール等の道具を使った運動等が行われました。

最近では、ブランコを怖がる子どももいるようで、保護者の膝の上に立たせたり、からだを浮かして横に振ったりして、不安定な場所でバランスをとったり、揺れる動きに慣れさせたりすることが大切であることを伝えられていました。



**保護者のための交流会**

グループで円になって座ります。  
じゃんけんをして勝った人から時計回りで自己紹介をさせていただきます。

「〇〇地域在住の〇〇 〇〇です。」  
「子どもは、〇人です、〇才、〇才、…です。」  
「～お話を下から選んで1分程度発言してください～」

★お題★

- ◆子どもの好きなおもちゃ・成長したなあと思うところ
- ◆子どもがいて幸せだなあと思う瞬間
- ◆最近の悩み・気になっていること
- ◆リフレッシュ方法
- ◆パートナーの育児家事参加について

全員自己紹介が終わったら、自由交流です。  
育児に関する情報交換の時間にしてください。

次回9月28日(木)「親子行事」絵本の読み聞かせです。

1時間程の親子体操の後に、30分程の保護者交流会が行われました。家庭教育学級が、保護者同士がつながる場となれるように、受付の際に指定されたグループに分かれ、市の担当者が準備した左の「交流マニュアルプリント」に従い、自己紹介や子どもの特性等の交流が行われ、楽しそうにお話する保護者の姿がありました。最後にアンケートへの記入と次回の紹介が行われました。



ひよこ交流アンケート

本学級が乳幼児家庭教育学級「ひよこ」第3回開催にご参加いただき、ありがとうございます。今後の学級活動の企画のため、下記アンケートにお返事をお願いいたします。

参加者情報	性別	年齢	職業	職業	職業	職業
お母さんのお名前	第1字	第2字	第3字	第4字	第5字	第6字
お父さんのお名前	第1字	第2字	第3字	第4字	第5字	第6字

お返事先について

学習のきっかけ  
お名前  
お住所  
お電話番号  
おメールアドレス

学習の目的  
お名前  
お住所  
お電話番号  
おメールアドレス

講師 河野 博子

第3回乳幼児家庭教育学級「ひよこ」

親子のための  
絵本の読み聞かせタイム

どんな本を選んであげよう  
絵本の選び方が広がります!

絵本は、毎週お楽しみプログラムです。  
ぜひ、親子で楽しんでください!

お名前  
お住所  
お電話番号  
おメールアドレス

お名前  
お住所  
お電話番号  
おメールアドレス

お名前  
お住所  
お電話番号  
おメールアドレス

お名前  
お住所  
お電話番号  
おメールアドレス

参加保護者の声



とても楽しく参加できました。からだの発達に関するアドバイスもあり、参考になりました。

河野先生の「おやこたいそう」は楽しいので参加できてよかったです。たくさん動いて、汗かいて、楽しい時間でした。

瑞穂市 瑞穂大学健幸学部(市民講座) 「『食』を科学する」 7月6日

講師： 岐阜地区家庭教育推進専門職 (元理科教師) 辻 治彦



「瑞穂大学」は、瑞穂市民のための生涯学習講座です。受講者の多くは、孫育て世代の方々です。「岐阜県子育て支援条例」には、祖父母の役割(7条)も示されておりますので、「食」に関わることを全般についてお話しする中で、現在の子どもたちに関わる食の課題についても、孫育ての中で活かしていただけるように、取り上げさせていただきました。



**受講者の声**

前半の内容は少し難しかったですが、面白く聞かせていただきました。粗食になりすぎないように気をつけたいと思います。

**味覚の発達のピークは3歳～4歳!**  
いろいろな食材の味を経験させましょう!

ただし  
ケチャップやマヨネーズ、ドレッシングなど  
食材がもつ本来の味が分からなくなってしまうものは使わないようにしましょう!

味を感じる味蕾の数、乳児期は1万 成人は7500

**「摂食障害」**  
成長期の子どもの身長と体重は増加するのがふつう!  
停滞・減少している場合は注意が必要!

**「神経性やせ症」**  
自分は太り過ぎと考え無理して痩せようとする

**「回避・制限性食物摂取症」(ARFID)**  
やせ願望がなくても食べない、食べられない状態  
真面目で不安感が強い子に起こりがちで育児にも

孫の一人が最近食が細くなっている  
ので心配しています。それとなく原因  
を探ってみたいと思います。



笠松町のこども館では、毎月、乳幼児とその保護者を対象にした催しを計画し開催してみえます。「手づくりパーク」は毎月連続する2日間に、講座を担当する職員が考えたオリジナルのおもちゃを親子でつくる講座です。以前は2～3歳児の参加が多かったようですが、最近では1歳児が多いため、1歳児でも行える内容にアレンジしながら実施しているとのことでした。

この日は、メガホンの飾りつけとして、アニメのキャラクターシールを貼ること、水性のペンを使って自由に模様描きすることを子どもの活動内容とされ、作業ができるように準備されていました。こどもの発達の段階に応じた対応を工夫されている点が大変素晴らしいと思います。



コロナ禍が少し落ち着いたこともあり、人との交流を求めて催しに参加される方も多くなっているため、保護者同士がつながり易くなるように、住まいのある地区と子どものマイブームを各保護者に紹介していただきながら、会が始められている点も参考にしていきたいと思ひます。



参加者の声

今日は、子どもが自分でシールを貼ったり、たくさんの色のペンを使って描いたりした素敵なメガホンをつくることができてよかったです。家でも遊んでみたいと思ひます。

岐阜県立国際たくみアカデミー 「親子しごと体験教室」 7月22日

親子しごと体験教室

参加無料  
定員86名(申込制)  
対象 小学生3年生  
～しごとの魅力・発見～  
7/22(土)  
9:30～11:30  
9:00受付開始  
会場 岐阜県立国際たくみアカデミー  
親子で「モノづくりのしごと」を楽しもう!

体験コーナー

①測量・ドローン体験 (一社)岐阜県建築工業会	②ミニチュア椅子の作成体験 (公)社)岐阜県建築士会	③大工体験 岐阜県建築組合連合会	④めりかべ体験 岐阜県瓦葺き協会	⑤かわらぶき体験 岐阜県瓦葺き協会
⑥モノづくりのお仕事 ⑧鋳物製造体験 (公)社)岐阜県鋳造協会 (公)社)岐阜県鋳造工業協会の会	⑦新しいものをづくり出す体験 岐阜県金型工業協会	⑨配管のお仕事 ⑩管工事体験 岐阜県管工事工業協会の会	⑪自動車整備のお仕事 ⑫自動車の整備体験 一社)岐阜県自動車整備協会の会	ミニモーター車 ミニモーター車

国際たくみアカデミーは、岐阜県が運営する職業訓練校で、美濃加茂市蜂屋町にあります。ここでは、夏休みに入った最初の土曜日に、親子で「モノづくりのしごと」を楽しんでもらい、その魅力を発見してもらうことを目的に「親子しごと体験教室」を開催しています。9つの体験コーナーを設け、この中から2つのコーナーを体験してもらいます。地域の事業者の方にも協力していただいているイベントのため、プロの方から直接指導していただける、貴重な機会です。

学校でも進路学習として、職業調べや職業体験学習を実施していますが、親子で一緒に体験できることは、家族で働くことや仕事の魅力などについて話し合う、よいきっかけになるものと考えます。そして、わが子のモノづくりに対する適性にも気づくことができるかもしれません。

自分の手で、形のあるものを作り上げる体験は、充実感を味わうことができ、その魅力にはまる子もいると思ひます。また、自分でもできる事を体験することで自信が付き、積極性も育ちます。どの子も目を輝かせて挑戦する姿が本当に素敵でした!



参加者の声

めりかべ体験がやってみたくて応募しました。簡単そうに見えるけど、実際にやってみるととても難しいことが分かりました。でもとっても楽しかったです。(女子小学生)

ものづくりが好きなので応募しました。技術の授業は今「プログラミング」で、形のあるものをつくることはやっていないので、今日は久しぶりにものづくりができて楽しかったです。(女子中学生)

体験することで学べることもあると思ひますし、こんな仕事もあるということが分かることができよかったです。子どもにはいろいろなことを知ってもらいたいと思ひます。(男子小学生の父)